

# シュプール 49号が届きました

本協会の機関誌である「シュプール49号」が完成され、各所属団体へ送付致したので会員の皆様へ配布されたかと思いますが・・・

また、2022年度(公財)北海道スキー連盟教育本部メモ(通称:青本)も届き、いよいよシーズン入りが間近です。

今年度は、SAJのシクミネットから会員登録や研修会登録を個人で入力することになりましたが、皆様、無事登録入力を終えてますか??

この先コロナが少し収まり、今シーズンこそ研修会でスキーの仲間とお会いできますこと楽しみにしております。

## 会長挨拶



### 伝統のバトンを引き継いで ～会長就任にあたって～

会長 三浦光男

コロナ感染症が猛威を振るい、未だに収束する兆しが見えず、計画していた函館開催の「北海道スキー指導者協会の集い」が2年続けて中止になるなど、会員が集まる事業はすべて中止となりました。しかし、書面評決ではありますが、前年度報告や新年度計画等の2022年度役員会議案、2年に一度の役員改選が成立したことは、各加盟団体のご協力の賜と感謝いたしております。

今回の役員改選によりまして、藤島勝雄前会長から会長のバトンを引き継ぐことになりました。日本スキー界の大先輩であります柴田信一先生をはじめ、栗林薫先生、坂井敏夫先生、速水渥先生等々、輝ける歴代会長の後を継ぐことは、身の引き締まる思いであります。

諸先輩方のご苦勞・ご努力、歴史を刻んでこられた業績に敬意を表しますと共に、微力ながら受け継いだ歴史の継承・発展に努力する所存でありますので、役員をはじめ会員の皆様のご協力を切にお願いいたします。

本協会は、1962年に「北海道一般スキー指導者委員会」として創立されてから69年になります。当初は、指導員約100名からのスタートでしたが、2000年には73加盟団体8300名を超える会員がおりました。

しかし、スキー界を取り巻く環境は変わり、経済不況や地球温暖化、少子高齢化等々非常に厳しいものとなり、2021年には41加盟団体3960名と全盛時の約半分以下となっております。また現在は、コロナ終息の見通しが立たず、残念ながら会員が集う機会がほとんどなくなりました。

このような状況の中でも、指導者協会活動を止めるわけにはいきません。

本協会が設立時に掲げた「加盟団体相互の親睦と資質の向上、健全なるスキー界の発展に寄与する」の目的を達成するため、現代医学の力を信じ、今年中のコロナ終息を願い、2年続けて中止になったメイン行事の一つであります「北海道スキー指導者協会の集い・函館大会」を来年7月、何とか開催させたいものと思っております。

もう一方の柱「機関誌シュプールの発行」も、諸行事の中止により原稿も少なくなってきていますが、新しい企画を考えるなど一層の努力により紙面の充実をはかり、発行を継続していくつもりであります。

また、少人数開催で好評を得ています北海道スキー連盟から委託された「春スキーの集い・スキルアップ研修会」も、本協会にとっては欠かせない事業であります。

トップアモにお願いしての、強力な講師陣のもと「技術と懇親」の研修会として開催しています。

コロナ禍中の大変厳しい状況ではありますが、今回選出された役員共々、この難局を乗り越え、伝統を受け継ぎ、発展させる所存でありますので、会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

# シー・パイル!! シュプール

No.49 2021年10月



説明

旧のオー  
スキー場  
(田原)

北海道スキー指導者協会